

虻中2年 原 綾香さん優秀賞

政府集 北海道洞爺湖サミットのロゴマーク決定!



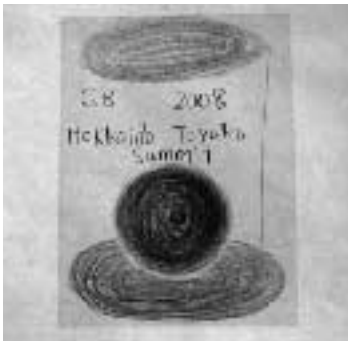
最優秀作品

政府が全国の小中高生らから、昨年7月から9月までの間、北海道洞爺湖サミットのロゴマークを募集し、このたび応募総数4、198点の中から、最優秀賞1点と優秀作品5点が決定されました。

優秀賞5点の中に、虻田中学校2年の原綾香さんの作品が中学生では唯一の入選。1月4日には、首相官邸で授賞式があり、福田首相から直接表彰状を受けました。

原さんの作品は、海面に接近している大きな太陽を描くことで、地球温暖化に警笛をならし、未来への希望を海から伸びる若葉で表しました。

最優秀作品には、三重県立特別支援学校北勢きらら学園C8（シーエイト）代表の近藤敦也さんから5人のグループが採用作品として決定しました。今後正



原 綾香さんの作品

式ロゴとして使用されます。

この作品の中央の緑の円は発芽している種で、青色の円は地球を表しており、地球上で自然環境と人類が共生している姿を表現しています。地球がいつまでも緑があふれる美しい星であつてほしいという願いをこめて北海道洞爺湖サミットから生まれた芽が成長し、大きな実を結ぶことを期待するというメッセージを伝えています。

**虻中原さん
長崎町長に受賞を報告**

1月16日、北海道洞爺湖サミットのロゴマーク募集で優秀賞を受賞した、虻田中学校2年の原綾香さんが、役場を訪れ、受賞の喜びを長崎町長に伝えました。

原さんは、作品の説明を行った後、受賞に対して「自分でも

老人クラブ交流会 友遊クラブサミットたすきで洞爺湖音頭披露

1月18日、毎年恒例の洞爺湖町老人クラブ連合会（鈴木正直会長）の新年演芸交流大会が、洞爺湖文化センターで開かれました。

今年は、19のクラブから約270人が参加。飲み物や食事を取りながら、各クラブの演芸発表を楽しみました。

オープニングは、いきいきクラブの皆さんの「憧れのハワイ航路」「上を向いて歩こう」のコーラスでスタート。カラオケ、民謡やパントマイムなど37の出し物が披露されました。

取りは友遊クラブの「洞爺湖音頭」。サミット開催歓迎を意識して、三上幸江さんら11人が手づくりのサミットたすきを肩にかけて、テーブルを回りながら踊りを披露し、交流会を盛り上げました。



手作りサミットたすきを付けて踊る友遊クラブの皆さん

びつくりした「ことや首相官邸での表彰式で、福田首相から直接「おめでとう」と言つて表彰状を手渡され、非常に感激したことなど、貴重な体験を語りました。

長崎町長は「おめでとう。感性豊かな作品で、私には考えもつかない」と受賞をたたえました。

原さんは「清掃活動やかべ新聞作りなどで、環境について取り組んできましたが、これからも学校全体で積極的に環境問題を



長崎町長に賞状を見せる原さん

取組んでいきたい」と抱負を語り、生徒会長としての顔をのぞかせました。